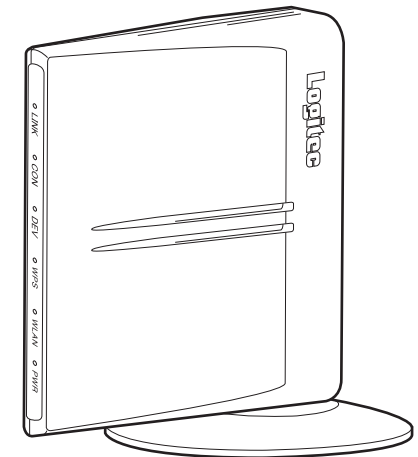
Wireless Converter

IEEE802.11g/11b準拠 無線コンバータ

LAN-PW150N/CV

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」と
あわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線コンバータ「LAN-PW150N/CV」を「本製品」と表記しています。
11n	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線AP	無線LANアクセスポイントを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータと無線APをあわせて「無線親機」と表記しています。
無線子機	PCカードタイプの無線LANカード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線LANアダプタ」および「無線コンバータ」を略して「無線子機」と表記しています。
有線クライアント	有線LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

IEEE802.11g/11b準拠 無線コンバータ

LAN-PW150N/CV

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線コンバータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには無線コンバータを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線コンバータを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲
次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して
P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話でご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

サポートページ　6409.jp

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060

受付時間：月曜日〜土曜日 10:00〜19:00
（ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

テクニカルサポートにお電話される前に
テクニカルサポートにお電話される前に、以下の項目について確認してください。
◆サポートページで「よくある質問」をご確認ください。
◆「よくある質問」をお読みいただいても解決しない場合は、以下をご用意のうえ、お電話をお願いします。
・製品の型番
・インターネットの回線種類、契約会社（プロバイダ）の書類、モデム（またはCTU、ONU）の型番などインターネットに関する情報
・ご質問内容（症状、エラーメッセージ、やりたいこと、お困りのこと）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●ネットワークTVを手軽に無線化
本製品を使用することで、ネットワークTVなど、有線LANポートを持つAV機器を簡単に無線化できます。WPS機能を搭載していますので、WPS機能搭載の無線親機となら、ボタンを押すだけで設定が完了します。

●場所を取らず、目立たないコンパクトサイズ
幅83mm×奥行79mm×高さ17mmの超コンパクトサイズの無線コンバータです。縦置きも、横置きも可能になっていますので、お部屋のちょっとしたスペースに設置できます。

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用
面倒な無線LAN設定や暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線接続できる「WPS」機能に対応しています。本製品背面のWPS/Resetボタンまたは設定ユーティリティ画面上のWPSボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線LAN接続を簡単に完了できます。また、設定ユーティリティを使った「PIN方式」での設定も可能です。

●セットモデルでは設定不要、機器をつなぐだけ
セットモデル"LAN-PW150N/CVAP"では、付属の無線AP（無線LANアクセスポイント）"LAN-PW150N/APTV"をルータなどにつなぐだけです。わずらわしい設定なしで、無線コンバータ"LAN-PW150N/CV"からすぐに、付属の無線APに接続できます。

●ネットワークTV以外にも、有線LAN機器を無線化可能
有線LANポートを持つネットワークTVはもちろん、その他にも有線LANポートを持つAV機器やパソコン、ネットワーク対応プリンタなどを簡単に無線化することができます。

●11n技術を取り入れた最大150Mbps（理論値）の高性能な無線コンバータ
本製品は、IEEE802.11nの技術を導入することで、11n準拠の無線親機または、弊社の「150Mbps対応無線親機」との組み合わせにより、無線LANでの通信において最大150Mbps（理論値）という高速なデータ通信を実現します。

●LEDランプを消灯できる「節電モード」を搭載
普段はほとんど見ることがない無線機器のLEDランプ。そこでLEDランプを消灯して消費電力を抑える「節電モード」を搭載しました。節電効果はもちろん、お部屋の照明を消したときなどに、LEDランプの点灯・点滅がわずらわしく感じられる場合にも役立ちます。点灯/消灯の設定は、ユーティリティ上で簡単に変更できます。
※電源ランプのみ節電モードでも点灯します。

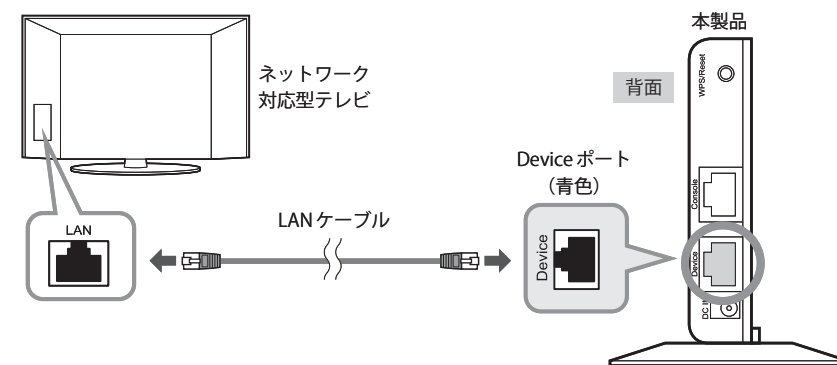
本製品の動作環境

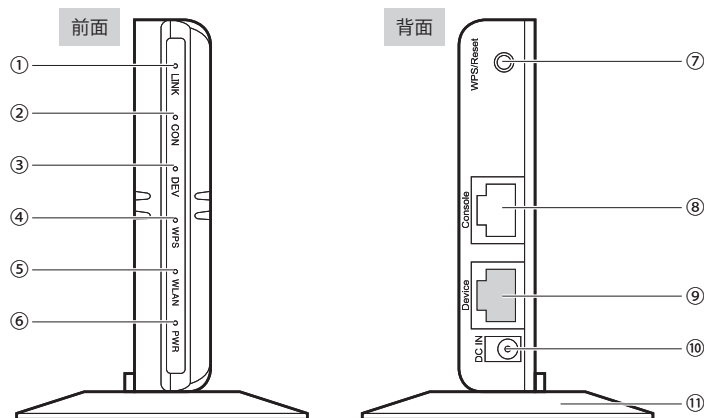
弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista/XP/2000/Me/98SEを搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.6/10.5/10.4）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ （Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 5.5以降

本製品に接続できる機器の台数について

●本製品に接続できる機器は、1台だけです。スイッチングハブなどを使って複数の機器を無線化することはできません。必ず本製品背面にある「Deviceポート」に有線LANポートを持つ機器1台をLANケーブルで直接接続してください。

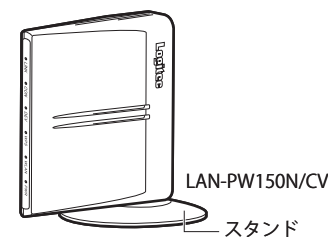
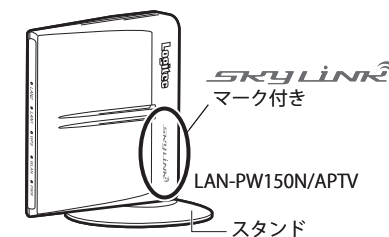
ネットワーク対応型テレビに接続する場合

●「Consoleポート」は、有線LANを経由して、本製品の設定ユーティリティに接続するためのLANポートです。ここにネットワーク対応型テレビなどの機器を接続しても、無線LANで接続することはできません。

4 各部の名称とはたらき

※ランプの状態は、いずれも「ランプ点灯モード」の状態を表します。「ランプ省電力モード」では、PWRランプのみ点灯します。

番号	名称	はたらき
①	LINKランプ（青色）※	点灯：無線親機と通信できています。 消灯：無線親機と通信できていません。
②	CONランプ（青色）※	点灯：設定用パソコンと接続しています。　消灯：未接続の状態です。
③	DEVランプ（青色）※	点灯：ネットワーク対応型テレビなどの機器と接続しています。 点滅：ネットワーク対応型テレビなどの機器と無線親機が通信中です。 消灯：ネットワーク対応型テレビなどの機器と接続できていません。
④	WPSランプ（赤色）※	点灯：背面のWPS/Resetボタンを押してWPS機能を利用している状態です。 消灯：WPS機能を使用していない状態です。
⑤	WLANランプ（青色）※	点滅：無線LAN機能を使用中です（電波を発信しています）。
⑥	PWRランプ（青色）※	点灯：本製品（LAN-PW150N/CV）の電源が入った状態です。
⑦	WPS/Resetボタン	本製品とWPS機能搭載の無線親機（無線APなど）との無線LAN接続を設定できる「WPS設定機能」と、本製品の設定値を初期化する「リセット機能」の2つのはたらきを持つボタンです。 1秒押して離すとWPSランプが点灯し、WPS機能がはたらきます。 10秒以上押すと、PWRランプが5秒間点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。 PWRランプが点滅している状態では、電源を切らないでください。
⑧	Consoleポート	本製品を設定するためのパソコンを接続するためのポートです。
⑨	Deviceポート	ネットワーク対応型テレビなどの機器を付属のLANケーブルなどを使って接続するためのポートです。
⑩	DC IN（電源ジャック）	本製品に付属のACアダプタを使用します。セットモデル“LAN-PW150N/CVAP”の場合、付属する2個のACアダプタのいずれを使用してもかまいません。 本製品に付属以外のACアダプタは接続しないようにしてください。
⑪	スタンド	本製品は、付属のスタンドを使用することで、縦置き、横置きどちらにでも対応します。 セットモデル“LAN-PW150N/CVAP”の場合、付属する2個のスタンドのいずれを使用してもかまいません。スタンドの使用方法については、下記の「設置方法について」をお読みください。

●本製品（無線コンバータ）と無線APの区別のしかた（セットモデルのみ）

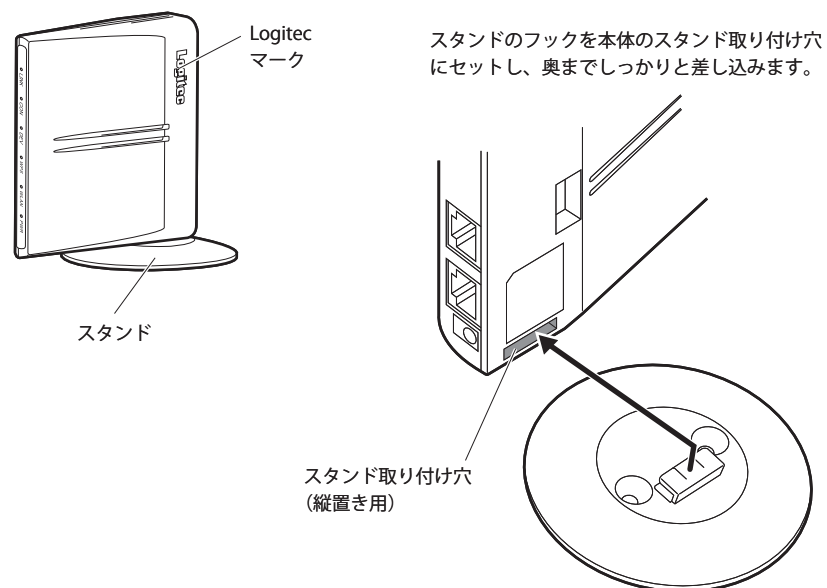
セットモデル“LAN-PW150N/CVAP”の場合、本製品（無線コンバータ）と付属の無線AP“LAN-PW150N/APTV”は、外観が似ています。本体のLogitecマークの横に「SkyLink」マークがあるか、ないかで区別することができます。

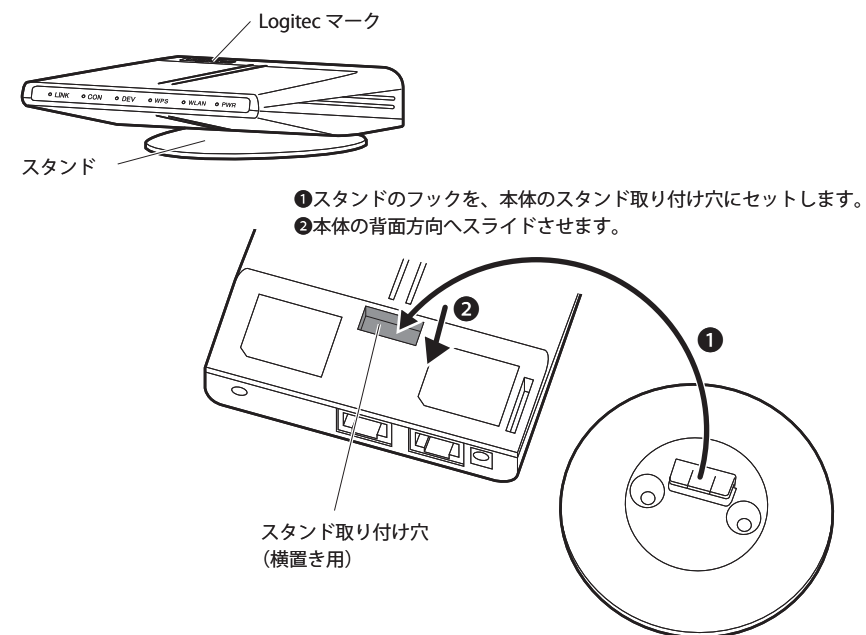
※側面（Logitecマークの裏側）の製品シールの型番名で区別することもできます。

●設置時のご注意

本製品は縦置き、横置きの両方に対応しています。縦置き/横置きいずれの場合も、必ず付属のスタンドにセットしてご使用ください。

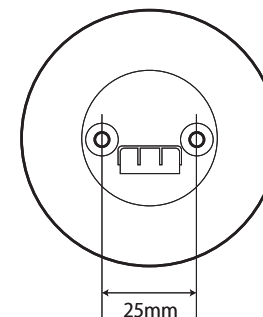
いずれの方向で設置する場合も、転落・引き抜け防止措置をとってください。本製品が動作している状態での転落や、コネクタ類の引き抜けは故障・データ消失の原因となります。

◆縦置き時

縦置きの場合は、LEDランプを前面として、Logitecマークが右側面の上側になるように設置します。

◆横置き時

横置きの場合は、LEDランプを前面として、Logitecマークが上面になるように設置します。

●壁面などへのネジ止めで固定する場合

本製品は壁面などに設置できるように、スタンドに2か所のねじ穴を用意しています。固定には直径（呼び径）3mmのネジ2本が必要です。設置面の素材および構造をお確かめになり、十分な強度を確保したうえで、本製品を取り付けてください。

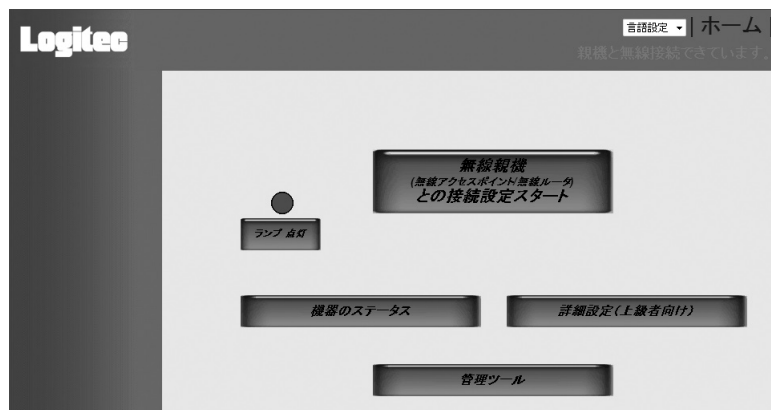
また、本製品への電源供給のために設置場所近くにACコンセントが必要です。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティの[ホーム]に表示されるボタンの内容を説明します。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続する必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

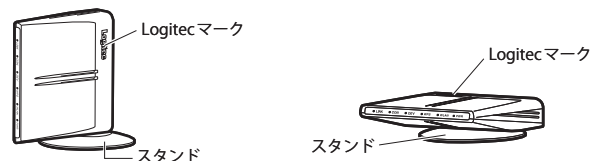
P32「1. 設定ユーティリティの表示」をお読みください。

ボタン名	内容	参照ページ
無線親機（無線アクセスポイント/無線ルータ）との接続設定スタート	接続先の無線親機との接続に必要な設定をアシストします。検索機能によって表示された接続先のSSIDを選択すると、自動判別可能な内容をすべて選択済みとし、セキュリティ機能を使用している場合でも、暗号キー（パスフレーズ）を入力して設定を保存するだけで作業が完了します。	→P35～
機器のステータス	機器の状態を表示します。	→P46～
詳細設定（上級者向け）	本製品の設定をカスタマイズします。項目によっては、ネットワークに関する十分な知識が必要です。	→P38～
管理ツール	本製品のファームウェアをアップデートしたり、設定を初期値に戻したりできます。	→P43～
ランプ点灯/ランプ省電力モード	本製品のLEDランプを消灯して消費電力を抑える「節電モード」を選択できます。お部屋の照明を消したときなどに、LEDランプの点灯・点滅がわずらわしく感じられる場合にも役立ちます。 [ランプ点灯]と表示されているときは、LEDランプが点灯する状態です。[ランプ省電力モード]と表示されている場合は「節電モード」です。 ※電源ランプのみ、節電モードでも点灯します。	→P47～

Chapter 2

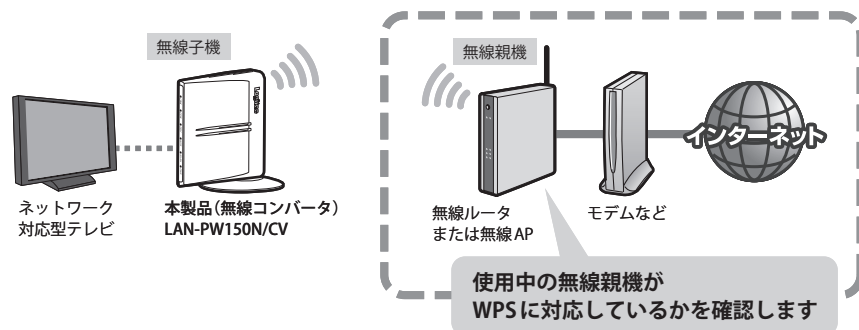
導入編

1 本製品を設定する

スタンドを取り付ける

本製品にスタンドを取り付けます。

・取り付け方法のくわしい説明は、P14「設置時のご注意」をお読みください。
・本製品はタテ置きでも、ヨコ置きでも使えます。必ず、スタンドを取り付けてください。

接続相手を確認する

本製品（無線コンバータ）と接続する無線親機がWPS機能に対応しているかを確認します。

●WPS機能が付いた無線親機と接続する場合

本製品は、WPS機能を装備しています。WPS機能に対応した機器同士であれば、WPSボタンを押すだけで、無線LAN接続ができます。

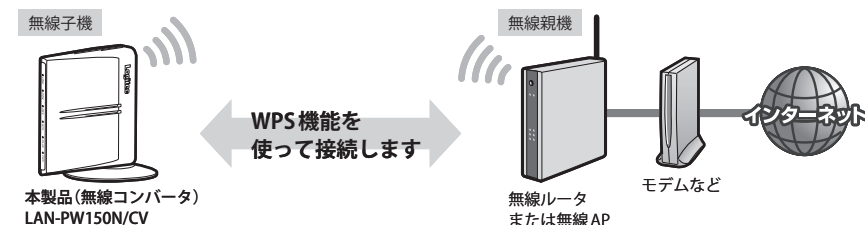
→P21「WPS機能を使って無線親機と接続する」へ進みます。

●WPS機能がない無線親機と接続する場合

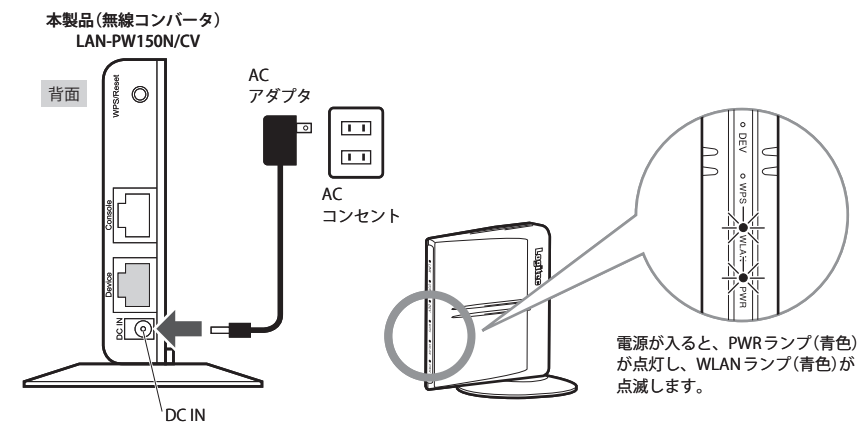
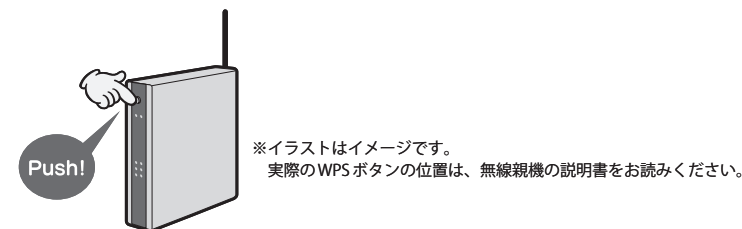
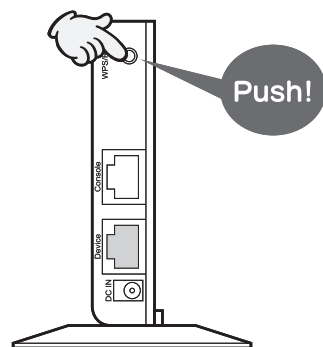
本製品の設定ユーティリティを使って、手動で無線LANの設定をします。本製品の設定ユーティリティに接続するには、有線LANポートを装備したパソコンが1台必要です。

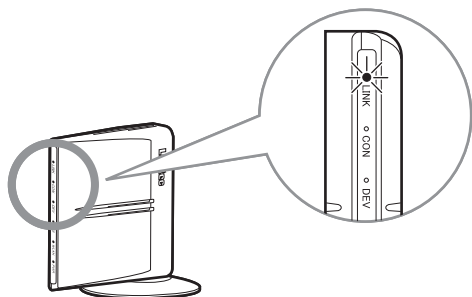
→P23「手動設定で無線親機と接続する」へ進みます。

WPS機能を使って無線親機と接続する

WPS機能を使って無線親機と接続します。お手元に接続相手の無線親機（無線ルータまたは無線AP）の説明書をご用意ください。

1 付属のACアダプタと本製品（無線コンバータ）をつなぎ、ACアダプタを家庭用コンセントに差し込みます。本製品の電源が入っていることを確認します。

2 無線親機のWPSボタンを押します。

※イラストはイメージです。
実際のWPSボタンの位置は、無線親機の説明書をお読みください。

3 **本製品の背面にある「WPS/Reset」ボタンを1秒以上押して離します。**

・WPS機能が動作するとWPSランプが赤色に点灯します。

4 **3分待ってから、本製品の「LINKランプ」（青色）が点灯していることを確認します。**

LINKランプが点灯しないとき
無線親機との距離を近づけて、もう一度、手順 **2** ～ **4** の作業をしてください。

5 **これで本製品の無線LAN設定は完了です。**

・いったん、本製品のACアダプタを家庭用コンセントからはずします。

6 **P28「2. 本製品をつなぐ」へ進みます。**

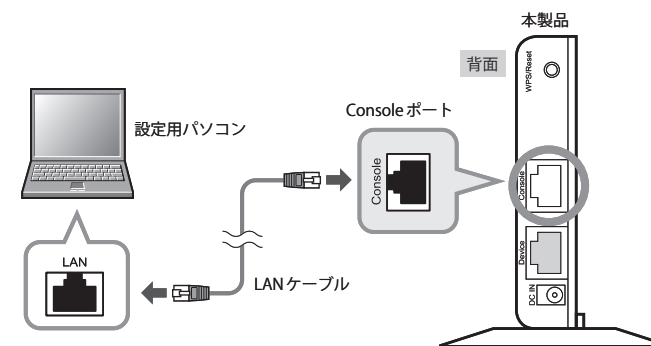
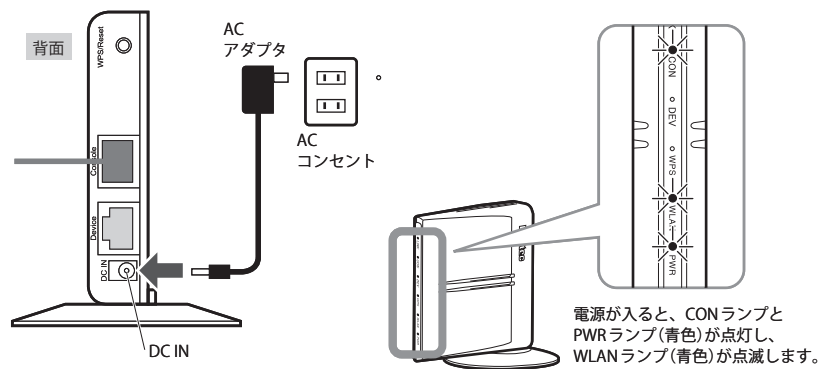
手動設定で無線親機と接続する

無線親機（無線ルータまたは無線AP）の無線設定の内容を、本製品の設定ユーティリティを使って手動で設定します。本製品の設定ユーティリティに接続するには、有線LANポートを持つパソコンが必要です。

1 **無線親機の電源を入れておきます。**
無線親機の説明書をお読みになり、以下の設定をメモします。

SSID		半角英数字 （大文字/小文字を区別）
暗号化のパスワード		半角英数字 （大文字/小文字を区別）

※チャンネルと暗号化種別は、本製品（無線コンバータ）が自動判別しますのでメモは不要です。

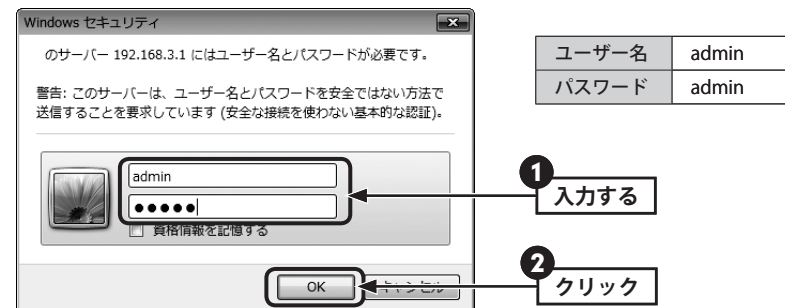
2 **パソコンの有線LANポートと本製品（無線コンバータ）の背面にある「Consoleポート」を、付属のLANケーブルでつなぎます。**

3 **付属のACアダプタと本製品をつなぎ、ACアダプタを家庭用コンセントに差し込みます。本製品の電源が入っていることを確認します。**

4 **パソコンから、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

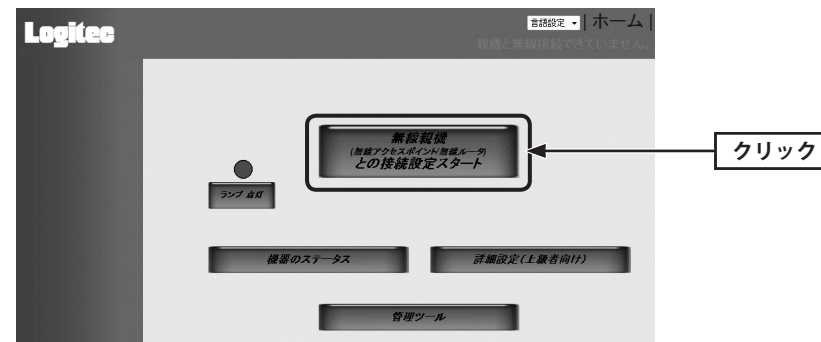
5 **Webブラウザの「アドレス」欄に、キーボードから「http://192.168.3.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。**

（画面はInternet Explorerの例です）

・認証画面が表示されます。
・このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

6 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。**

ユーザー名	admin
パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。

7 **[無線親機との接続設定スタート]をクリックします。**

8 **手順 1 でメモしたものと同じSSIDを選択し、 選択 をクリックします。**

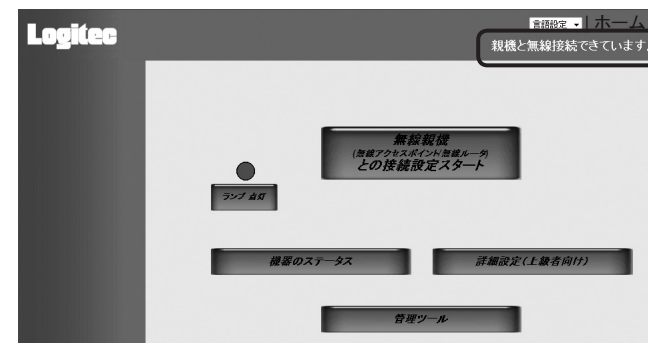
・ご使用の環境によっては、複数のSSIDが表示されます。

9　**「パスワード」を入力し、 設定 をクリックします。**

・パスワードは、大文字/小文字を区別します。正確に入力してください。
・「パスワードの表示」をチェックすると、入力した内容を確認することができます。

10　**更新 をクリックします。**

11　**「OK」の右側にカウンタが表示されます。カウンタが「0」になり、ボタンが有効になれば OK をクリックします。**

12　**設定ユーティリティの画面右上に「親機と無線接続できています。」と表示されていれば、設定は完了です。**

・本製品の「LINKランプ」（青色）が点灯していることで確認することもできます。

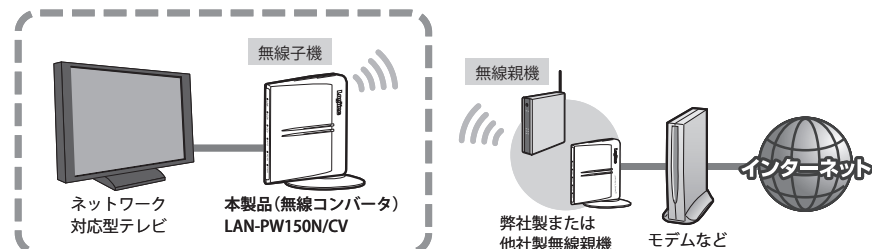
13　**これで本製品の無線LAN設定は完了です。**

・Webブラウザの画面を閉じ、パソコンの電源を切ります。
・いったん、本製品のACアダプタを家庭用コンセントからはずします。
・パソコンと本製品をつないでいたLANケーブルを抜きます。

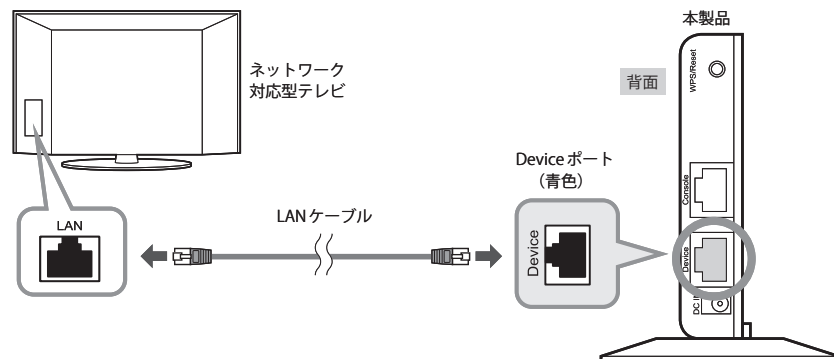
14　**P28「2. 本製品をつなぐ」へ進みます。**

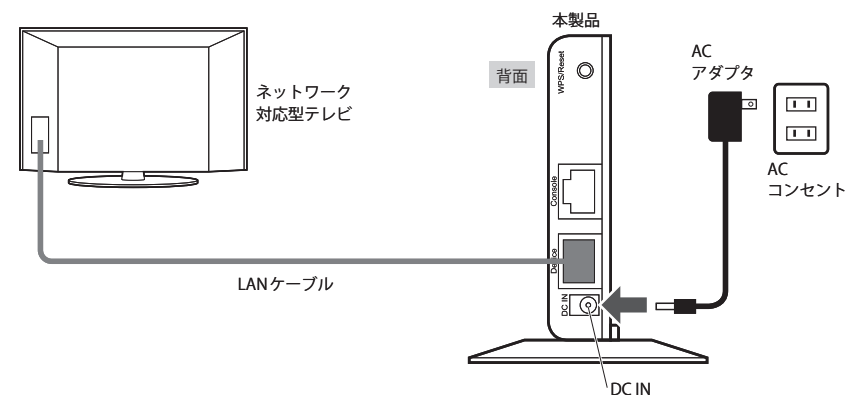
セットモデル“LAN-PW150N/CVAP”をご購入の場合
このあとP28「2. 本製品をつなぐ」へ進む前に、無線AP“LAN-PW150N/APTV”のユーザーズマニュアルまたは、別紙「かんたんセットアップガイド」のSTEP2をお読みになり、無線APの準備をしておいてください。

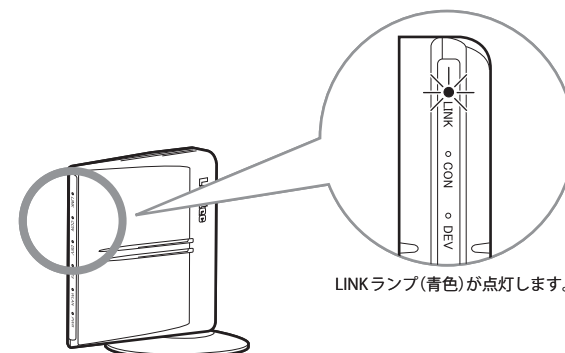
2 本製品をつなぐ

ここでは、本製品をネットワーク対応型テレビにつなぐ場合を例として説明します。ネットワーク対応型テレビ以外にも、有線LANポートを持つAV機器、パソコンなどとつなぐことで、これらの機器を無線LANで接続することができます。

1 以下のことを確認します。

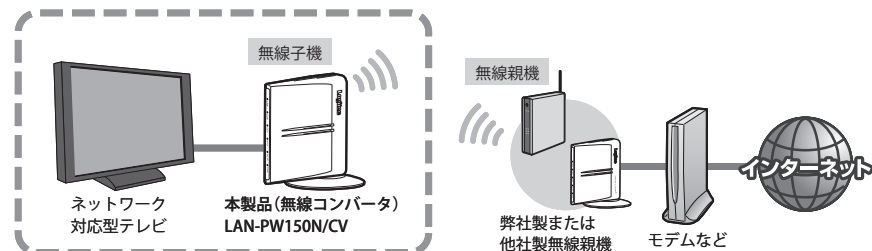
・テレビ（または接続機器）の主電源が切れていることを確認します。
・無線ルータまたは無線APの電源が入っていることを確認します。

2 テレビ（または接続機器）のLANポートと本製品（無線コンバータ）の背面にある「Deviceポート」（青色）を、付属のLANケーブルでつなぎます。以下のことを確認します。

・テレビなど本製品をつなぐ相手の機器にあるLANポートの位置については、お手持ちの機器の説明書をご覧ください。

3 付属のACアダプタと本製品をつなぎ、ACアダプタを家庭用コンセントに差し込みます。

4 本製品の「LINKランプ」（青色）が点灯していることを確認します。

LINKランプ（青色）が点灯します。

5 P30「3. インターネットに接続する」へ進みます。

3 インターネットに接続する

ここでは、本製品をネットワーク対応型テレビにつないだ場合を例として、インターネットに接続できるか確認する方法を説明します。

1 **テレビの電源を入れます。**

2 **テレビのリモコンを使って、インターネットに接続します。**

・お手持ちのテレビの説明書にある「インターネット接続」に関する説明ページをお読みください。

3 **インターネットのコンテンツが表示されれば、すべての作業は完了です。**

・ブラウザ画面の操作方法、インターネット対応の番組サービスなどのご利用については、お手持ちのテレビの説明書および、番組サービスのご案内をお読みください。

パソコンにつないだ場合
パソコンのWebブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。

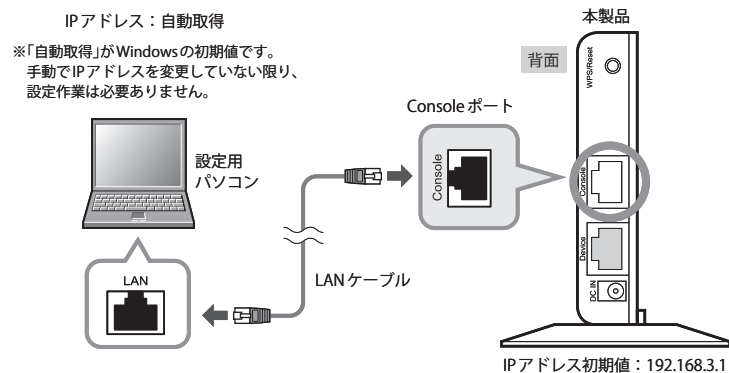
Chapter 3

詳細設定 編

1 設定ユーティリティの表示

本製品（無線コンバータ）の設定ユーティリティは、パソコンのWebブラウザ経由で接続して、設定します。

本製品の設定ユーティリティへの接続について

本製品の設定ユーティリティを使用するには、設定用のパソコンをご用意いただき、パソコンのWebブラウザからアクセスする必要があります。

必ず、本製品の「Consoleポート」とつないでください。

●接続のポイント

・本製品は、初期値ではDHCPサーバ機能が有効になっています。本製品の「Console」ポートと設定用パソコンをLANケーブルで接続するだけで、設定ユーティリティにアクセスすることができます。
LANケーブルは別途ご用意いただく必要があります。

本製品の初期値

DHCPサーバ	有効
サブネットマスク	192.168.3.1

設定ユーティリティを表示する

設定用パソコンから本製品の設定ユーティリティに接続します。

本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要です
本製品の設定ユーティリティには、パソコンで接続します。本製品のIPアドレスは、「192.168.3.1（初期値）」に設定されていますので、このIPアドレスに接続できる環境をご用意ください。詳しくは前項のP32「本製品の設定ユーティリティへの接続について」をお読みください。

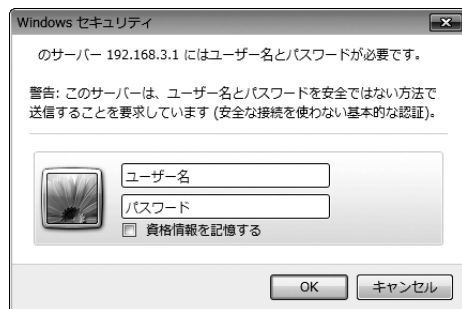
1 本製品の電源を入れます。設定用のパソコンを起動します。

2 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

3 Webブラウザの「アドレス」欄に、キーボードから「http://192.168.3.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

（画面はInternet Explorerの例です）

・このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

4 **認証画面が表示されます。**

認証画面が表示されない場合

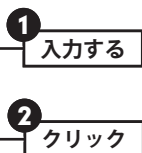
以下の順序で確認してみてください。

①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。

②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンを起動してみてください。

③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください（→P53「2. パソコンのIPアドレスの確認方法」）。

5 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。**

ユーザー名	admin
パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P45「パスワードの設定」）。

2 無線親機との接続設定スタート

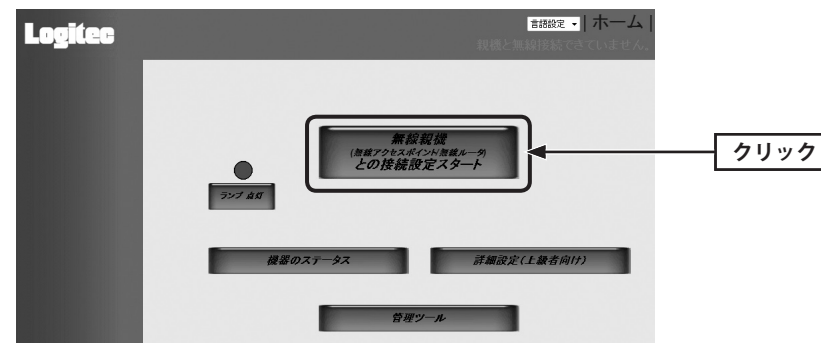
ウィザード形式で、無線親機と本製品を接続します。無線化したい機器に本製品を接続する前に、この設定をおこないます。設定が完了したあとに、無線化したい機器の有線LANポートと本製品の「Deviceポート」をLANケーブルでつないでください。

画面の表示 **[ホーム]で[無線親機（無線アクセスポイント/無線ルータ）との接続設定スタート]を選択します。**

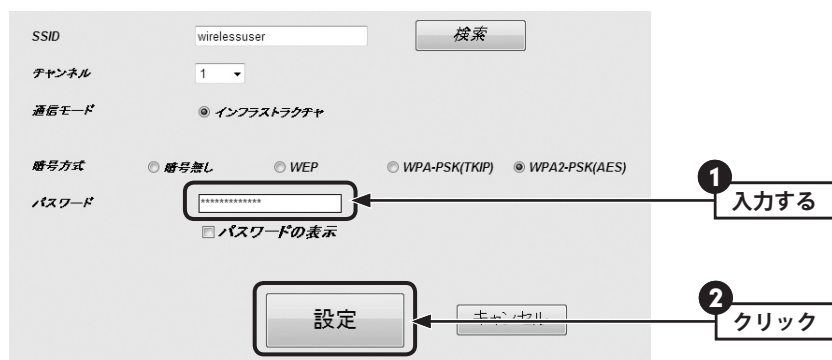
1 **無線親機の電源を入れておきます。**
無線親機の説明書をお読みになり、以下の設定をメモします。

SSID		半角英数字（大文字/小文字を区別）
暗号化のパスワード		半角英数字（大文字/小文字を区別）

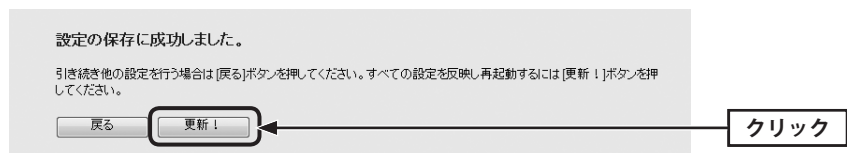
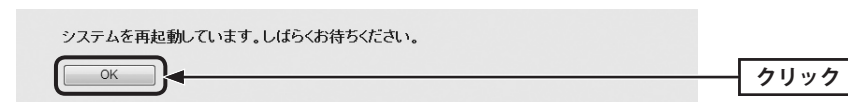
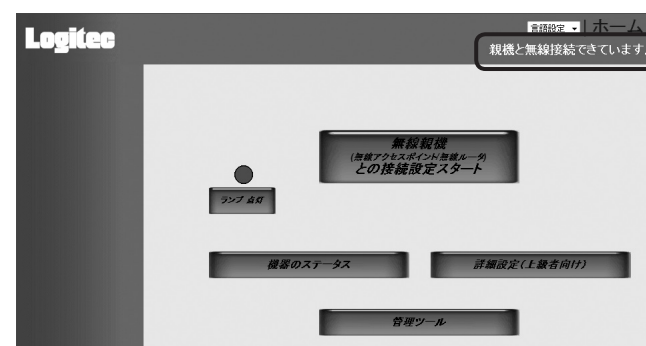
※チャンネルと暗号化種別は、本製品（無線コンバータ）が自動判別しますのでメモは不要です。

2 **[無線親機との接続設定スタート]をクリックします。**

3 手順 **1** でメモしたものと同じSSIDを選択し、 選択 をクリックします。

・ご使用の環境によっては、複数のSSIDが表示されます。

4 「パスワード」を入力し、 設定 をクリックします。

・パスワードは、大文字/小文字を区別します。正確に入力してください。
・「パスワードの表示」をチェックすると、入力した内容を確認することができます。

WEPを使用している場合
認証方式、キー長、キー形式、キー番号の現在の設定と暗号キーの入力欄が表示されます。暗号キー以外は、本製品が自動的に情報を取得していますので、選択されたキー番号に暗号キーを入力してください。

5 更新 をクリックします。

6 「OK」の右側にカウンタが表示されます。カウンタが「0」になり、ボタンが有効になれば OK をクリックします。

7 設定ユーティリティの画面右上に「親機と無線接続できています。」と表示されていれば、設定は完了です。

・本製品の「LINKランプ」（青色）が点灯していることで確認することもできます。

8 これで本製品のウィザード機能を使っての無線LAN設定は完了です。

設定が完了したら
無線化したい機器の有線LANポートと本製品の「Deviceポート」をLANケーブルでつなぎます。接続した機器からインターネットやネットワークに接続できることを確認してください。

3 無線LANの設定をする

本製品のSSIDや暗号化方式など、無線LAN機能を設定します。

設定可能な暗号化方式について
本製品に設定可能な暗号化方式は、以下のとおりです。

WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境で「WPA-PSK」が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK（WPAプレシェアードキー）	新しい暗号化方式です。データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。

無線LANの設定

画面の表示
［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［無線設定］を選択します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず［設定］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新！］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

項目		内容
SSID		無線LANで使用するSSIDを入力します。［検索］ボタンでSSIDを選択すると、チャンネルや暗号化方式が自動的に判別されますのでお勧めです。［検索］ボタンについては、下記「●ボタンの機能」をお読みください。
チャンネル		使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1〜13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。 （例）1ch/6ch/11ch
通信モード		本製品の通信モードは「インフラストラクチャ」に固定されています。
暗号方式	暗号なし	暗号化方式を設定しません。
	WEP	無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。 選択すると、WEPの設定画面が表示されます。設定項目については、P40「暗号化の設定」の「WEPを設定する」をお読みください。
	WPA-PSK（TKIP）	WPA-PSKを使用します。暗号化方式には、「TKIP」を使用します。本製品はWPA-PSKについては「AES」を選択できません。 設定項目については、P40「暗号化の設定」の「WPA-PSK・WPA2-PSKを設定する」をお読みください。
	WPA2-PSK（AES）	WPA2-PSKを使用します。暗号化方式には、「AES」を使用します。設定項目については、P40「暗号化の設定」の「WPA-PSK･WPA2-PSKを設定する」をお読みください。

●ボタンの機能

検索	接続可能な無線親機のSSIDをリストで表示します。 ［ホーム］の［無線親機との接続設定スタート］をクリックしたときと同じ画面が表示されます。 操作の手順は、P35「2.無線親機との接続設定スタート」を参考にしてください。

暗号化の設定

「暗号方式」でWEPまたはWPA-PSK（TKIP）・WPA2-PSK（AES）を選択した場合は、暗号化の設定項目が表示されます。

［検索］ボタンについて

検索 によりSSIDを自動検索した場合は、暗号キー（パスフレーズ）以外の項目は、本製品が自動的に設定内容を取得し、選択した項目を画面に表示します。面倒な設定の手間が軽減されますので、この機能を使用することをお勧めします。

WEPを設定する

暗号方式でWEPを選択すると、画面がWEPの設定画面になります。

暗号方式　暗号無し　WEP　WPA-PSK(TKIP)　WPA2-PSK(AES)
認証方式　オープン　シェアード
キー長　64-bit　128-bit
キー形式　ASCII(英数字)　Hex(16進数)
キー　1. *************
2. *************
3. *************
4. *************　パスワードの表示

認証方式	認証方式を選択します。
キー長	キー長を選択します。64-bitよりも128-bitのほうがセキュリティの信頼性が高くなります。
キー形式	暗号キーの種類として、ASCII文字か16進数かを選択します。
キー	WEPでは、4つのキー番号から使用するキー番号を選ぶ必要があります。選択したキー番号の右横にある入力欄に暗号キーを入力します。 暗号キーは無線親機で設定されているものと同じ内容を入力します。ASCII文字の場合は、大文字と小文字が区別されます。
パスワードの表示	ここをチェックすると、暗号キーの入力欄に入力した暗号キーの文字が表示されます。

WPA-PSK・WPA2-PSKを設定する

暗号方式でWPA-PSK（TKIP）またはWPA2-PSK（AES）を選択すると、画面がそれぞれの設定画面になります。

パスワード	パスワード（パスフレーズ）は無線親機で設定されているものと同じ内容を入力します。大文字と小文字が区別されます。
パスワードの表示	ここをチェックすると、パスワードの入力欄に入力したパスワードの文字が表示されます。

4 LAN側の設定をする

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［IPアドレス設定］を選択します。

IPアドレスの設定

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［設定］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新！］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●IPアドレス設定

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを入力します。初期値は「192.168.3.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。

5 ツール機能を使う

ツール機能を使用すると、設定の初期化やファームウェアのアップデートなどができます。

管理ツール

〈管理ツール〉画面で、設定の初期化（工場出荷時の状態に戻す）、ファームウェアのアップデート、パスワードの設定ができます。

［ホーム］で［管理ツール］を選択します。

設定を初期化(工場出荷時の状態に戻す)する

本製品の設定を初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。

❶ [装置の初期化]の 初期化 をクリックします。
❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので OK をクリックします。
❸ しばらくすると、「設定の読み込みに成功しました！」と表示されますので、 OK をクリックします。〈管理ツール〉画面に戻ります。

ファームウェアのアップデート

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

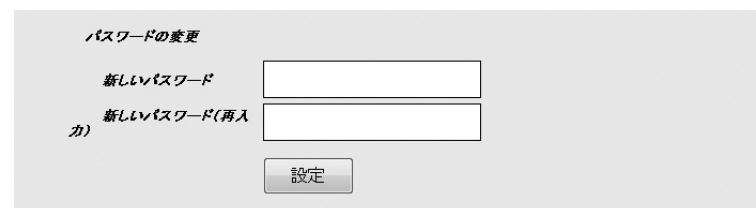
❶ 弊社Webサイトなどから最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
❷ 参照 をクリックします。

❸ 〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
❹ 適用 をクリックします。
❺ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。
❻ アップデート中の注意事項が表示されますので内容を確認のうえ、 OK をクリックします。
❼ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
❽ 本製品の背面にあるDCジャックからDCプラグを抜き差しして電源を入れ直します。本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。

パスワードの設定

本製品の設定ユーティリティを表示するためのパスワードを設定/変更します。

●パスワードの変更をお勧めします
設定ユーティリティの無線LAN設定にある「セキュリティ設定」には、無線LAN用に設定したパスワードを表示できる機能があります。設定ユーティリティのパスワードが初期値のままだと、初期値でログインしてパスワードを自由に確認することができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のパスワードを忘れないでください
変更後のパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

❶ [新しいパスワード]に、新しく設定するパスワードを入力します。
❷ [新しいパスワード(再入力)]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
❸ 設定 をクリックします
❹ 認証画面(→P34)が表示されますので、本製品のユーザー名と新しく設定したパスワードを入力し、 OK をクリックします。
・〈管理ツール〉画面に戻ります。

6 ステータス

［ホーム］→［機器のステータス］で、本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

機器のステータス

●ファームウェアバージョン
ファームウェアのバージョンを表示します。

●有線側情報

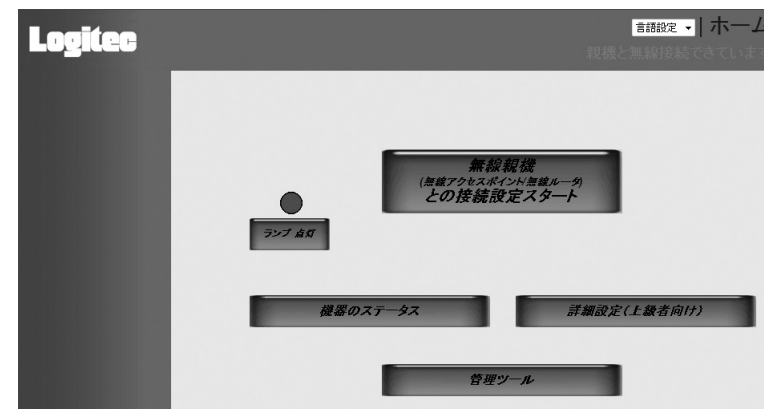
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のLAN側のサブネットマスクを表示します。

●無線側情報

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
暗号方式	現在使用中の暗号化方式を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。

7 表示ランプを消灯する

本製品のLEDランプを消灯して消費電力を抑える「節電モード」を選択できます。お部屋の照明を消したときなどに、LEDランプの点灯・点滅がわずらわしく感じる場合にも役立ちます。

電源（PWR）ランプのみ、節電モードでも点灯します。

設定の方法

❶ ［ホーム］にある［ランプ点灯］をクリックします。
※ボタン名が［ランプ省電力モード］と表示されている場合は、すでに節電モードになっています。
❷ ボタンが「ランプ点灯」→「ランプ省電力モード」に変化し、ボタンの上の丸いアイコンが、青色から白色に変わります。
❸ ランプが消灯していることを確認します。電源ランプだけは節電モード時でも点灯します。
❹ 設定ユーティリティを閉じます。

再度ランプを点灯するには、［ランプ省電力モード］ボタンをクリックしてください。ボタンが「ランプ省電力モード」→「ランプ点灯」に変化し、ボタンの上の丸いアイコンが、白色から青色に変わると、ランプが点灯します。

Appendix

付録編

1 こんなときは

一般的なトラブル

●テレビからインターネットに接続できません。
インターネットに接続できない要因については、さまざまなことが考えられます。以下の方法を試したり、確認したりしてください。

①無線コンバータのLINKランプの状態を確認します。

◆LINKランプが点灯していない場合
→無線コンバータ、無線親機（無線ルータまたは無線AP）、モデム等、すべての機器の電源をいったんオフにします。次にモデム→無線親機→無線コンバータの順に電源を入れて、LINKランプが点灯することを確認してください。
※機器の電源を入れてから、インターネットに接続できるまで時間がかかることがあります。5分程度お待ちください。

→各機器の電源を入れ直してもLINKランプが点灯しない場合は、「Chapter2 導入編」の作業をやり直してください。

◆LINKランプが点灯している場合
→テレビからのLANケーブルが無線コンバータの「Deviceポート」に接続されていることを確認してください。「Consoleポート」に接続されているとインターネットに接続できません。
→テレビ〜無線コンバータ、無線親機（無線ルータまたは無線AP）〜モデム等、モデム〜インターネット回線をそれぞれつないでいるLANケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。それでも接続できない場合は、各機器の電源をオフ→オン（①の最初の回答を参照）して再度確認してください。

②無線コンバータと無線親機の距離が遠いと、電波が弱いためインターネットに接続できないことがあります。無線コンバータと無線親機の距離を近づけて接続できるか確認してください。

●ひかりTV視聴時に、無線機能搭載のパソコンから無線LAN経由でインターネットに接続できません。
ひかりTVの仕様により、このような現象が起こることがあります。以下のホームページに対応方法が記載されていますので、そちらを参照してください。

http://www.hikaritv.net/support/faq4.html#q04

●セットモデル（LAN-PW150N/CVAP）を初期化したら、接続できなくなりました。
製造工場で出荷する際に接続設定をおこなっているため、初期化をすると接続の設定が消去されてしまいます。この場合、P21「WPS機能を使って無線親機と接続する」を参照し、WPS機能を使って設定をおこなってください。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANで接続できなくなりました。
①セキュリティ設定は、同一無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。設定内容をご確認ください。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

※セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSで接続できません。
WPSは、ボタンを押してから一定時間内に設定する必要があります。時間内に設定が完了しなかったことが考えられます。もう一度初めからやり直してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

パソコンにつないだ場合のトラブル

●パソコンで使用していますが、無線LANがつながりません。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？
プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②本製品のセキュリティ設定やMACアドレスフィルタリング（アクセスコントロール）設定は正しいですか？
セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示されます。

正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができません。

ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線および無線子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合

❶［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド・・・」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：


接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続している無線子機の種類によって表記は異なります。

Windows XP/2000の場合

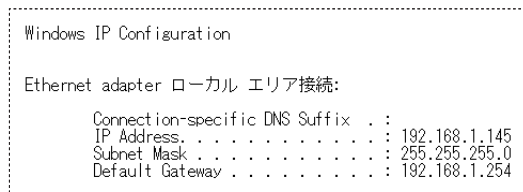
❶［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続している無線子機の種類によって表記は異なります。

3 基本仕様/おもな初期値

無線LAN部

項目	内容
規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412～2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11n接続時：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n接続時：最大150Mbps（MIMO使用時） 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アンテナ方式	基板アンテナ1本
セキュリティ	SSID（ステルス設定可）、マルチSSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）、MACアドレスフィルタリング
設定方式	WPS（ボタン搭載）

有線LAN部

項目	内容
規格	IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、 IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	RJ-45×2ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

一般仕様

項目	内容
消費電力（定格）	1W（ACアダプタは含まず）
動作温度/動作湿度	0～40℃/90%以下（結露なきこと）
外形寸法	幅83×奥行79×高さ17mm（スタンドは含まず）
質量	約70g（ACアダプタ、スタンドは含まず）

有線LAN関係の工場出荷時の設定値

項目	内容
LAN側IPアドレス	192.168.3.1
DHCPサーバ機能	有効

設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

項目	内容
ログイン時のユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin